

新採用の なかまのみなさん

「教職員なかまユニオン」です

私たちには、健康で元気に働くための職場の労働環境が必要です。

「これってパワハラじゃない?」「こんなことまで私たちの仕事?」「こんな時間まで仕事って…」・・・

「おかしいな」「しんどいな」と思ったら、ぜひ相談を!

●子どもたちが未来に希望をもって巣立っていける教育を願って、この道に進まれた方が多いと思います。しかし今、大阪の学校の労働環境は年々ひどくなっています。

長時間労働、校長による一方的な勤務評定、ハラスメント言動 etc.etc. たくさんの訴えが「教職員なかまユニオン」にも寄せられています。

●大企業や国にとって役に立つ「人材」を育成するために子どもたちを競わせ、自分たちの生活と命より、意味が分からなくても「ルール」に従うことが大切だと教えるよう求められています。

その一方で、教職員自身も自己責任と競争の中に置かれ、時間と数値目標に追われ、子どもたちと向き合う時間が持たなくなっています。

●教職員がその力を発揮するためには、上意下達の命令ではなく、思った通りにやってみることができ、失敗しても支え合い、学び合える職場環境（なかま）が必要です。

労働組合は、そのためにあります。いきいきと働ける労働条件をつくり出すことが、子どもたちの未来を保障することになるのです。一人で悩まずに、ぜひ、いつでも相談を！ つながり、組み合いましょう。

いつでも気軽に相談を（無料）連絡先:090-1914-0158

HP : <http://www.nakama-kyoiku.com/>（「なかまユニオン」で検索）



「君が代」の意味を知っていますか？

■大阪では、大阪維新の会が多数派になった 2011 年度に、全国の自治体のどこにもない、国歌「君が代」起立斉唱を教職員に義務付けた条例がつけられました。子どもたちにも、卒業式や入学式でしっかり歌うよう指導することが求められています。今日の発令式でも、行われます。

ところが、その「君が代」がどんな歌なのか、歌詞の意味や、「教育勅語」と一体だった歴史は教育委員会から一切説明されないのです。その結果、子どもたちには何の学習も保障せず、ただ「日本の国歌は『君が代』なので、しっかり歌いましょう」という「指導」＝「調教・洗脳」が行われることになってしまっています。



【「君が代」現代語直訳】天皇が治める世の中は千年万年小さな石が大きな岩になって苔（こけ）がはえるまで永遠に

■私たちは、子どもにも教職員にも、「君が代」斉唱の強制には反対です。教職員自身が行っていることにも疑問を持ち、戦争のための「愛国心」のせん動を許さずに、どの子も平和に幸せに暮らせるための教育を、いっしょに考えていきましょう。＊下記の集まりに気軽にご参加ください（連絡先：090-1914-0158）

☆4月24日（水） 学校でのパワハラ・長時間労働問題 講演学習会

松丸正弁護士（過労死弁護団全国連絡会議 代表幹事）講演

午後6：30～ エルおおさか（「天満橋」駅、西5分）

☆4月30日（火・休） 「教職員なんでも相談」ほっとライン & Café

午後1：00～5：00 なかまユニオン事務所（「京橋」駅、北西5分 HP参照）